

令和2年度 岡谷市 予算編成の大要

令和2年2月

岡 谷 市

令和２年度の岡谷市当初予算案及び関係議案を議会に提出しご審議をいただくにあたり、予算編成の方針及び大要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いするものでございます。

令和２年度は「**第５次岡谷市総合計画**」の２年目として、これまでの取組を基盤として必要な改革を行い、本市のさらなる発展のために持続的な成長を実現しなければならないことから、計画に基づく政策や施策、事業を効果的に推進し、基本目標の達成と、将来都市像「**人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷**」の実現に向けて、より一層積極的に取り組む必要があります。

また、人口減少・少子高齢化の克服に向けた地方創生の取組や公共施設等の最適化の推進など、先送りすることのできない課題に適切かつ柔軟に対応しながら、中長期的な視点に立ち、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人に活躍の場や生きがいがあり、また、生活に彩りと潤い、楽しみがあって、幸せを実感でき、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える満足度の高い岡谷市を創り上げていかなければなりません。

こうしたことから、令和２年度は「**創造と前進の年**」と位置づけ、岡谷市の未来を展望し、将来のまちに多くの夢と希望を描くことができる確かなまちづくりを力強く進めるため、各種施策、事業に全力で取り組んでまいり所存であります。

令和２年度のわが国の経済情勢は、内閣府が公表した「**令和２年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度**」によりますと、「**安心と成長の未来を拓く総合経済対策**」を円滑かつ着実に実施するなど各種の政策効果もあいまって、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が進展する中で、内需を中心とした景気回復が見込まれるとしております。

政府は、「**経済再生なくして財政健全化なし**」の基本方針の下、デフレ脱却・経済再生と財政健全化に一体的に取り組み、２０２０年頃の名目ＧＤＰ６００兆円経済と２０２５年度の財政健全化目標の達成をめざすこととしております。

また、潜在成長率の引き上げによる成長力の強化をめざし、**Society 5.0**時代に向けた人材・技術などへの投資やイノベーションを喚起し、生産性の飛躍的向上に取り組むとしております。

このような見通しに基づく「**令和２年度予算編成の基本方針**」では、「希望出

生率1.8」、「介護離職ゼロ」、「人づくり革命及び働き方改革」のための対策を推進しつつ、就職氷河期世代の人々の社会への参画機会を拡大していくとともに、全世代型社会保障の構築に向け、社会保障全般にわたる持続可能な改革を進めるとしております。

加えて、自然災害からの復興や国土強靱化、観光・農林水産業をはじめとした地方創生、地球温暖化などSDGsへの対応を含むグローバル経済社会との連携など重要課題への取組を行うとしております。

こうした方針に基づく国の令和2年度当初予算案は、一般会計の歳出総額を、過去最大となる**102兆6,580億円**としており、前年度に引き続き100兆円を超える予算規模となっております。

また、総務省が公表した「**令和2年度地方財政対策**」によりますと、地方においては、景気回復に伴う地方税の増収が見込まれる中、地方交付税について、前年度を約4,073億円上回る16兆5,882億円を確保するほか、幼児教育・保育の無償化や会計年度任用職員制度への対応に係る財源を確保するなど、安定的な財政運営を図ることができるよう、一般財源総額については、前年度を約7,246億円上回る63兆4,318億円を確保することとしております。

地方創生に対しましては、地方が自主性・主体性を最大限発揮して地方創生に取り組み、地域の実情に応じたきめ細かな施策を展開することができるよう、引き続き「**まち・ひと・しごと創生事業費**」として、歳出に1兆円を計上しております。

このほか、「**防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策**」と連携しつつ実施する、防災インフラの整備を推進するため「**緊急自然災害防止対策事業費**」として、3,000億円、公共施設等の老朽化対策をはじめ適正管理を推進するため、「**公共施設等適正管理推進事業費**」として、4,800億円を計上するなど、地方が行う取組に対し一定の財政措置がされたものとなっております。

この考え方に基づく地方財政計画の規模は、前年度比1.3%増の**90兆7,400億円**程度、公債費などを除く地方一般歳出につきましては、前年度比2.3%増の**75兆8,500億円**程度が見込まれております。

このような状況を踏まえ、岡谷市におきましては、緩やかな回復基調が続く景気情勢を背景に、企業の積極的な設備投資が見られたことや、新築家屋の増により固定資産税の増収を見込んでいるほか、個人市民税につきましては給与所得、

納税義務者数が堅調に推移していることから今年度と同程度の税収を見込んでいるものの、税制改正等の影響による法人市民税の減により、市税全体では減収を見込まざるを得ない状況であり、厳しい財政状況を認識しつつ、大きな課題である人口減少・少子高齢化に適切かつ柔軟に対応するため、効果的に施策を展開する必要があります。

また、一般会計の財政推計では、長年取り組んでまいりました行財政改革により一定の成果が認められるものの、人口減少が続く状況から、市税をはじめとする歳入の減や、歳出においては高齢化の進展による介護や医療等への繰出金の増などを見込んでいる中、引き続き、産業振興や子育て支援、市民の安全・安心を確保するための施策と、健全財政の堅持に向けた取組とのバランスを図りつつ後年度の財政需要に配慮した安定的な行財政運営に努めなければなりません。

こうしたことから、「岡谷市行財政改革プログラム」に基づく取組として、公共施設等の計画的な修繕や長寿命化、類似施設の統合などによる最適化に向けて具体的な検討を進めるほか、歳入確保と歳出削減、人材育成と意識改革など、たゆまぬ行財政改革に取り組み、人口規模や財政規模と調和した時代にふさわしいまちづくりを進めてまいります。

この度上程いたします令和2年度当初予算案は、「第5次岡谷市総合計画」に掲げる将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、

- ・ともに支えあい、健やかに暮らせるまち
- ・未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち
- ・人が集い、にぎわいと活力あふれるまち
- ・安全・安心で、自然環境と共生するまち
- ・快適な生活を支え、住み続けたいまち
- ・みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

の6つのまちづくりの基本目標を基調とするほか、限られた財源を喫緊の政策課題に重点配分し、より効果的な施策展開を図るため、

- ・未来の担い手育成
- ・地域の元気創造
- ・暮らし満足度向上

の3つを重点施策に掲げ、必要な施策・事業に財源を集中した、「未来へ前進 元気創造予算」として編成いたしました。

次に、予算編成の「重点施策」の考え方について、説明申し上げます。

はじめに「未来の担い手育成」につきましては、出生数が減少する中、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えるなど、子育て支援施策の充実を図り、若い世代や子育て世代が住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりに取り組んでまいります。

また、岡谷市教育大綱に基づき、確かな学力の定着や、豊かな心と健やかな体の育成を図るなど、魅力ある教育環境づくりに取り組み、将来に向かって大きな夢と希望を持てる子どもたちを育むために積極的に投資してまいります。

次に「地域の元気創造」につきましては、将来的な移住につながる交流人口、関係人口の創出・拡大に積極的に取り組むとともに、本市の強みであります産業集積のより一層の維持・発展により働く場所を確保し「仕事があって楽しいがある」を合言葉に、U I J ターン就職や移住・定住を促進してまいります。

また、ものづくり基盤整備のほか、ものづくりのまち岡谷を担う人材の育成・確保や企業競争力の強化を図り、基幹産業であります製造業のさらなる発展に努めてまいります。

次に「暮らし満足度向上」につきましては、昨年10月にスタートしました、岡谷市商業活性化計画に基づく施策展開により、市民生活に彩りと潤い、楽しみを与え、まちに豊かさをもたらす商業、サービス業の振興に取り組んでまいります。

また、高齢者も若者も、障がいや難病のある人もない人も、すべての市民の皆様が持てる能力や知識、経験を十分に活かし、活躍できるまちづくりに取り組んでまいります。

このほか、市民の皆様にとって身近な生活道路の整備につきましては、引き続き財源を重点的に配分し取り組んでまいります。

これら重点施策に基づく令和2年度の一般会計当初予算額は、総額202億3,000万円、前年度比では6億1,000万円、3.1%の増といたしました。

また、一般会計・特別会計の合計では、総額259億8,300万円、前年度比では5億2,440万円、2.1%の増といたしました。

一般会計歳入の主な事項でございますが、市税につきましては、令和元年度決算見込額を基に**68億3,500万円**、前年度比では**1億700万円**、**1.5%の減**を見込んでおります。

地方交付税につきましては、令和元年度決算見込額や地方財政計画などを基に**40億8,200万円**、前年度比では**1億9,200万円**、**4.9%の増**を見込んでおります。

また、一般会計歳出のうち、事業費の増減が大きいものとしたしましては、**民生費**では、発達支援施設を併設します新西堀保育園整備費や、障がい者自立支援等給付費、障がい児通所給付費の増などにより、前年度比**4億3,113万7千円**、**6.2%増**の**74億739万3千円**、**衛生費**では、岡谷市民病院における最新医療機器の更新に伴う、病院事業会計負担金の増などにより、前年度比**1億3,036万4千円**、**8.5%増**の**16億6,798万円**、**商工費**では、岡谷市文化会館改修工事費の増のほか、商業等振興補助金の拡充、また、SUWAブランドの知名度向上と、ものづくり人材の育成のための新たなプロジェクトに要する経費を計上したことなどにより、前年度比**6,261万2千円**、**3.2%増**の**20億2,543万6千円**、**消防費**では、消防団車両整備費、諏訪広域消防負担金の増などにより、前年度比**1億5,607万3千円**、**26.5%増**の**7億4,399万9千円**、**教育費**では、小学校教科書改訂に伴う増のほか、就学援助費及び小学校における外国語指導助手の拡充を図ったことなどにより、前年度比**3,259万7千円**、**2.1%増**の**15億8,890万3千円**としております。

次に、企業会計につきましては、水道事業・下水道事業・病院事業の3つの企業会計の収益的支出及び資本的支出の合計は**132億1,360万円**で、前年度比**8億6,487万4千円**、**7.0%の増**といたしました。

それでは基調に沿って、令和２年度当初予算案の概要を順次説明してまいります。

はじめに、基本目標『ともに支えあい、健やかに暮らせるまち』について説明申し上げます。

まず、**結婚に対する支援**といたしまして、結婚を望む方に対して出会いの場を提供する、**恋つむぐ岡谷 出会いの場創出事業**として、岡谷市社会福祉協議会、諏訪湖勤労者福祉サービスセンターとの連携による婚活イベント、また、結婚に向けた自分磨きを支援するブラッシュアップセミナーを行うほか、婚活バスツアーを併せて開催することで、より魅力的で参加しやすい事業として展開してまいります。

さらに、結婚に対する経済的な不安を解消するため、結婚に伴う住居費及び引越費用を支援する、**おかやでスタート 結婚新生活支援事業**につきましては、対象となる年齢及び所得要件を拡大して取り組み、結婚のきっかけとなる男女の出会いの場の創出から、結婚・定住までトータル的にサポートしてまいります。

母子保健の充実といたしましては、妊婦の口腔衛生の向上を図るため、**妊婦歯科健康診査事業**を実施するほか、産後の初期段階における支援を強化するため、産後２週間及び産後１か月の産婦を対象に**産婦健康診査事業**を実施するとともに、**産後ケア事業**として、医療機関等への宿泊や通所におけるサービスに必要な経費を助成するなど、引き続き、妊娠から出産、乳幼児期までの切れ目のない包括的な支援を実施してまいります。

また、新たに実施します**未来のげんきっず応援事業**では、出産のお祝いとして、岡谷商工会議所による運用が開始されるオカヤペイ５，０００ポイントを贈呈するほか、こどものくにの来館者、各種の子育て関連講座の参加者にポイントを付与することで、子育て世帯の経済的負担の軽減とオカヤペイの利用促進によるまちのにぎわい創出を図ってまいります。

さらに、同年齢の子をもつ母親を対象に、母親同士の情報交換の場の提供と、専門職による親支援のアドバイスを行う**子育てママのおしゃべりサロン事業**を継続するほか、子育て支援館こどものくにの**遊具を更新**し、子育て環境の充実を図ってまいります。

地域とともに支える子育て支援の充実といたしましては、**おかやコドモテラス こどもの居場所づくり設置促進モデル事業**として、民間実施団体とのネットワーク強化に取り組むとともに、引き続き、食事や学びの場の提供、悩み相談など、一場所多役の子どもの居場所づくりに取り組み、地域全体で子どもを育てる風土の醸成と子どもの健やかな成長を支援してまいります。

また、家庭児童に関する相談、情報提供、実情把握、調査指導などの体制強化を図るため、**家庭児童相談員**を1名増員して2名体制とし、きめ細やかな支援を行ってまいります。

子どもの育成支援といたしましては、**新西堀保育園・発達支援施設整備事業**として、保育環境及び発達特性のある子どもたちの支援体制の充実を図るため、本年12月の開園に向け着実に事業を推進するとともに、子どもたちの声が響き渡り、地域に末永く愛され、誇りとなる保育園となるよう施設整備を進めてまいります。

また、**保育園整備計画中期計画策定事業**として、園児数の減少が見込まれる将来を見据えて、公立保育園の適正配置と魅力ある保育園づくりについて議論を深めてまいります。

このほか、継続実施いたします、**ぼくもわたしもおかやっ子事業**では、郷土食材の素晴らしさを子どもたちに伝承するとともに、食育の推進を図ってまいります。

子育て世帯への**経済的支援**では、中学3年生までの子どもの医療費を支援する、**子ども医療費給付事業**を継続するほか、幼児教育・保育の無償化に伴う**副食費の減免**について、国の免除制度を拡大し、第2子以上の児童を養育する世帯を対象として、第2子については50%、第3子以降については100%を減免する市独自の施策を実施してまいります。

また、小中学校における**就学援助費**について、新たにキャンプや登山などの校外活動費に対する支援を行い、経済的負担のさらなる軽減に努めてまいります。

さらに、安心して子どもを育てられる安定した住まいの提供を図るため、市営住宅において、**子育て世帯等を対象とする優先入居制度**を創設し、経済的負担の軽減を図るとともに、若年層の移住・定住を促進してまいります。

このほか、地方創生に向けた連携協定を結んでおります諏訪信用金庫との協働により、**大学等進学資金の借入に対する利子補給**を継続し、官・金連携による

子育て支援とUターンの促進に取り組んでまいります。

福祉の推進では、**地域福祉の推進**といたしまして、昨年4月に開設した**成年後見支援センター**を中心に成年後見制度の利用促進を図り、市民誰もが地域で安心して暮らせる環境を整えてまいります。

また、地域コミュニティ活動の拠点となります**地域サポートセンター**の一層の充実を図るため、各区をはじめとする関係団体との連携を深める中で、地域が抱える課題をともに解決していく体制の強化に取り組んでまいります。

高齢者福祉の推進といたしましては、高齢者の移動手段を確保するため、運転免許証自主返納者に対するシルキーバス回数券の交付を12枚から36枚に拡大するほか、75歳以上の市民及び運転免許証自主返納者を対象として、1回100円で乗車することができる**シルバー回数券「おでかけパス」**を新たに導入し、併せてシルキーバスの利用促進を図ってまいります。

また、**認知症総合支援事業**として、岡谷市認知症初期集中支援チームの活動をさらに推進するとともに、出張相談に取り組み、軽度認知障害の早期発見に努め、適切な支援へつなぐほか、新たにVR（バーチャル・リアリティ）を活用した認知症体験会を開催し、認知症に対する理解を深めることで、認知症のある方が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう取り組んでまいります。

さらに、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、自分らしい暮らしを続けることができるよう、切れ目のない**在宅医療・在宅介護の提供体制**の構築に向け、引き続き、岡谷市在宅医療・介護連携推進検討委員会を中心として検討を深めてまいります。

このほか、**一般介護予防事業**として、介護予防普及啓発、地域におけるリハビリテーション活動の支援など、各種の取組を通じて、高齢者が持てる能力を発揮しながら、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる環境づくりに取り組んでまいります。

障がい者（児）福祉の推進といたしましては、令和3年度を開始年度とします「第5次岡谷市障がい者福祉計画」のほか、2つの計画策定に取り組むとともに、障がい福祉サービス、相談支援、地域生活支援事業の提供体制の確保に努め、障がい者が必要な支援を受けながら、地域社会の一員としていきいきと生活して

いくことができるまちづくりを進めてまいります。

社会保障の円滑な運営といたしましては、**国民健康保険事業**について、財政運営の責任主体であります長野県と共同して持続可能な制度運営に取り組み、安定的な財政運営に努めてまいります。

こうした中、令和2年度の税率につきましては、県から示されました仮係数による標準税率に基づき、平均2.49%の改定をお願いすることといたしました。

なお、確定係数における標準税率との差額分につきましては、基金繰入金等により対応することで被保険者の負担軽減を図ってまいります。

生活保護に至る前の段階での自立支援の強化を図る、**生活困窮者自立支援事業**では、自立相談支援を核に、就労支援、住居確保支援、家計改善支援など、それぞれの状況に応じたきめ細やかな相談、対応を行い、生活困窮者の自立に向けて幅広く支援してまいります。

また、80代の親と、自立できない事情を抱えた50代の子どもが、生活に困窮し社会から孤立してしまう「8050問題」の対策として、引きこもりに関する啓発と理解促進に取り組んでまいります。

このほか、心配ごと相談、消費生活相談、ひとり親家庭相談など生活に関する多様な相談窓口を一元化した**福祉総合相談事業**を継続し、それぞれの事情に応じて専門の相談員が丁寧な対応を行ってまいります。

保健・医療の推進では、**健康づくりの推進**といたしまして、より多くの方を楽しみながら健康づくりに取り組んでいただくため、生活機能改善プログラムを搭載した音響機器を導入し、地区保健委員会や各種団体等が行う健康づくり活動を支援する、**音楽と運動による健康サポート事業**を新たに実施してまいります。

また、市民の皆様の健康に対する意識の高揚や国民健康保険特定健診の受診率向上を図るため、特定健診、人間ドック、各種がん検診等の受診者及び健康づくりに関する講演会の聴講者のほか、生きがいデイサービス利用者に対して、オカヤペイのポイントを付与する**健康ポイント事業**を拡大実施してまいります。

さらに、「岡谷市自殺対策計画」に基づく「こころ」と「いのち」の**ほっとサポート推進事業**では、地域におけるネットワーク強化や、自殺対策を支える人材となるゲートキーパーの養成に取り組むほか、学校教育においては、**児童・生徒**

の**SOSの出し方教育**を実施し、市民一人ひとりが「こころ」と「いのち」を大切にし、ともに支えあい健やかに暮らせるまちの実現をめざしてまいります。

このほか、**骨髄移植ドナー支援事業**として、ドナー登録の拡大とドナーの負担軽減を図るため、骨髄等の提供を完了した方及びその方が勤務する事業所に対する助成に加え、骨髄移植等により、移植前に行った定期予防接種の効果が低下または消失した方が、再度予防接種を行う際にその費用を助成してまいります。

地域医療体制の推進といたしまして、岡谷市病院事業では天野病院事業管理者のもと、「人材確保と人材育成」、「質の高い医療サービスの提供」、「健全経営の維持」を重点項目として積極的な病院運営を進め、市民の生命と健康を守る市民病院としての役割を果たしつつ、地域医療の中核を担う病院づくりを推進するとともに、岡谷市病院改革プランの最終年度として経常収支の黒字化に努めてまいります。

また、診療体制の充実に不可欠な医師の確保につきましては、引き続き、信州大学医学部への訪問を重ねて連携を深めるほか、県外から市内の医療機関に赴任する医師に対する就業支援に取り組むとともに、医師養成課程向けの育英基金奨学金の効果的な活用を進めるなど、市と病院事業が一体となって取り組んでまいります。

このほか、岡谷市看護専門学校におきましては、国の「高等教育の修学支援新制度」に準じて、一定の要件に該当する学生の入学金及び授業料を減免し、地域医療を支える人材育成と学生の経済的負担の軽減を図ってまいります。

続きまして、基本目標『未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち』について説明申し上げます。

岡谷市教育大綱に教育理念として掲げます「自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり」の実現に向けて、子どもたちの確かな学びと成長の支えを実現し、豊かな感性と人間性を育みながら、家庭・学校・地域・行政の協働により「岡谷のひとづくり」を推進してまいります。

また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりに取り組んでまいります。

学校教育の推進では、やってみよう おかやキッズラボ事業として、小学生の長期休業中における学習支援を湊小学校、川岸小学校、長地小学校及びカルチャーセンターにおいて実施するほか、中学2年生を対象として放課後に学習支援を実施してまいりました岡谷子ども未来塾につきましては、新たに小学5年生を対象に加え、さらなる学習意欲の向上を図ってまいります。

チーム岡谷による学力向上推進事業につきましては、引き続き、長野県教育委員会から派遣を受け配置します主任指導主事と学力向上アドバイザーを中心として、児童・生徒の学力向上と教職員の資質向上をめざしてまいります。

また、ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業として、ものづくり体験学習や地域資源を活用した岡谷スタンダードカリキュラムを全校で展開し、郷土を愛する心を育み、ふるさと回帰につなげるとともに、将来のものづくりのまち岡谷を担う人材育成と、魅力と活力ある学校づくりを進めてまいります。

さらに、新学習指導要領の本格実施に伴い、小学校における外国語の授業時数が増加することからALTを増員配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と、急速に進展するグローバル化に対応することができる人づくりに取り組んでまいります。

このほか、新たに幼保小接続期連携事業により、小学校に入学する児童が保育園などでの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、スムーズに学校生活に適應することができるよう幼保小の連携を強化し、いわゆる「小1プロブレム」の予防や解消に取り組んでまいります。

施設整備では、安全で快適な学習環境整備事業として、岡谷東部中学校へのエレベーターの設置に向けた設計業務を行い、管理教室棟長寿命化大規模改修工

事とあわせ、令和３年度中の竣工に向け事業を推進するほか、**市内小中学校のトイレの洋式化**を計画的に進めることとし、令和２年度については、川岸小学校のトイレの洋式化に取り組み、安全・安心で、快適な学習環境を整備してまいります。

子ども総合相談センターでは、長期欠席傾向にある児童・生徒の自立に向けた努力を支援するフレンドリー教室、中間教室を引き続き設置するほか、専任の相談員、専門カウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどにより、保育園、学校、専門機関などと連携しながら、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を行ってまいります。

特別支援教育推進事業では、心身の障がいや発達の遅れ、生活や学習の上での困難さを抱える児童・生徒、並びにその保護者に対して、臨床心理士などの資格を持つ専門のカウンセラーが学校、関係機関などと連携しながら、個々の特性に応じた支援や指導を実施してまいります。

通学路交通安全対策事業では、「第３次通学路安全対策プログラム」に基づき、カラー舗装や区画線、ガードポストの設置など、計画的な安全対策工事を実施することにより、登下校時の子どもの安全確保を図ってまいります。

学校教職員の働き方改革では、中学校における**部活動指導員の増員配置**などに取り組み、本来の業務であります授業づくりや、子どもたちと向き合い、指導に専念することができる環境を整えることで、より質の高い授業の実現と学力向上に努めてまいります。

生涯学習の推進では、「第６次岡谷市生涯学習推進計画」であります「岡谷市学びの紡ぎ応援プラン」に基づき、人生１００年時代を豊かなものにするため、歴史と文化を礎に自ら学び、その学びを地域で還元することができる輝くひとづくりに向けて、生涯学習活動のさらなる推進を図ってまいります。

また、市立岡谷図書館では「第３次岡谷市子ども読書活動推進計画」に基づき、幼児期からの図書館利用を促進するとともに、読書習慣の定着と読書を通じた豊かな感性の醸成を図るため、ファーストブックプレゼント事業に続く取組として、３歳児を対象にイラスト付きの図書館利用カードをプレゼントする**ファ**

ーストチョイスブック事業を新たに実施し、初めて自分で本を選び借りる機会と楽しみを創出してまいります。

スポーツ・文化の振興では、スポーツの振興といたしまして、「スポーツに親しみ、夢と感動が生まれるまち」を基本理念とする「第2次岡谷市スポーツ推進計画」であります「はつらつ岡谷スポーツプラン」に基づき、各種事業を展開してまいります。

令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックイヤーであります。市民の皆様がスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことで、多様な形でスポーツに関わり、スポーツを通して心と体を養い、はつらつとした暮らしを送ることができるよう、スポーツ機会の充実とライフスタイルに応じたスポーツ活動を推進してまいります。

ホストタウンプログラム推進事業では、カナダを相手国とするホストタウンとして、カナダ関係者等との交流、日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流などを通じて、大会に向けた機運の醸成を図るとともに、スポーツを通じた地域の活性化、教育文化の向上及び共生社会の実現を図るほか、パラリンピック聖火ビジットを実施し、パラスポーツの普及につなげてまいります。

また、おかやキッズ 運動大好き事業では、子どもの体力及び運動能力の向上と、教員の指導力向上を図るため、小学校1・2年生の体育の授業に専門指導員を派遣するとともに、各小学校の課題を把握し解決するためのアドバイスを行うほか、運動の苦手意識を克服するためのおかや小学生体育塾を開催してまいります。

さらに、スポーツ&健康 高齢者運動促進事業として、65歳以上の市民を対象に、年4回、市民総合体育館を無料開放し、併せてスポーツアドバイザーを配置することで、運動に取り組むきっかけづくりと、健康に対する意識の高揚を図ってまいります。

このほか、スポーツ環境の整備・充実として、屋内市民水泳プールの改修に向けて、建物の老朽化・劣化状況調査を実施してまいります。

文化・芸術の振興では、蚕糸博物館企画展等開催事業として、世界的に有名な友禅作家の千地泰弘さんをお招きし、ギャラリートーク、ワークショップ、舞台衣装展示を行うほか、長野県内で活躍する染色作家にスポットを当てた「信州の

作家展」の開催、また、収蔵品展として、製糸業で培ったものづくりのDNAを紹介する「諏訪のものづくり蚕糸業から精密機械へ」を開催することで、岡谷市民のみならず、より多くの皆様にシルクの良さと魅力を伝え、シルク文化・シルク産業の発展へつなげてまいります。

岡谷美術考古館では、特別企画展開催事業として、没後80年を迎えます**武井直也展**のほか、**今に生きる縄文**として、現代芸術の中に生きる原始の芸術に着目し、縄文をモチーフとした絵画や工芸作品の展示を行い、質の高い芸術、文化に触れる機会を創出してまいります。

このほか、**若手アーティスト育成事業**として、将来性のある若手作家に対し、技法や展示方法に関する助言を行うとともに、企画展示室を貸し出し、個展を開催することで若手作家の活動を後押ししてまいります。

続きまして、基本目標『人が集い、にぎわいと活力あふれるまち』について説明申し上げます。

産業の振興では、**工業の振興**といたしまして、「岡谷市工業活性化計画」に掲げる将来工業都市像「次世代を切り拓く、高い技術のものづくりのまち」の実現に向け、積極的に各種施策を展開してまいります。

企業立地の推進では、工場の新設・移転時に土地の取得額などを助成する**商工業振興条例補助金**や、工場等の家賃を助成する**企業立地支援補助金**により、市外企業の誘致をはじめ、市内企業の事業拡大と流出防止、空き工場の活用促進に取り組むほか、**工場用地確保推進事業**として、工場用地の不足を解消するため、関係機関等からの情報収集に努めるとともに、職員による現地踏査を通じて、工場用地に適した未利用地の把握に努めてまいります。

また、新規創業者支援といたしまして、岡谷商工会議所と連携し、「創業支援事業計画」に基づき、新規創業に必要な経費を助成する**創業のまち岡谷実現事業**などにより、市内での新規創業を促進するとともに、新規創業者に対する諏訪圏工業メッセの出展ブースを確保するなど、創業まもない中小企業者の経営基盤の確立や受注開拓を支援し、地域経済の活性化と産業集積の拡大を図ってまいります。

工業活性化対策の推進では、精密加工技術を強みとして、少量多品種への対応や高付加価値製品の製造といった本市の製造業が持つ特長を最大限に活かすことができるよう、新技術・新製品等の開発を支援する、**新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業**、医療・ヘルスケアや航空・宇宙など拡大が見込まれる産業分野への進出を支援する**次世代産業参入環境整備支援事業**を実施してまいります。

また、**展示会出展事業**では、大都市圏で開催される展示会への出展に加え、新たに、自動車、工作機械関連企業が多く集積している愛知県岡崎市において開催される展示会へ出展し、市内企業のPRと新たな受注確保に努めてまいります。

経営環境の充実では、市内企業が持つ優れた技術や資産を将来へ引き継いでいくため、**事業承継支援事業**として、積極的に市内企業の訪問を実施する中で、具体的なマッチングを模索するほか、経営者の高齢化などにより、やむを得ず廃

業を余儀なくされる企業等の技術や設備を引き受ける市内企業などに対して、その際に必要な経費を助成してまいります。

また、喫緊の課題であります、人手不足の解消と労働生産性の向上に向けた取組としましては、**I o T導入支援事業**を実施するほか、**先端設備等導入計画認定事業**として、生産性向上特別措置法に基づき、生産性を向上させる先端的な設備を導入した認定事業者に対し、新たな設備投資に係る固定資産税を、3年間ゼロとする特例措置を継続するほか、国の各種支援制度を積極的に活用できるよう、引き続き、市内中小企業の事業環境の整備に取り組んでまいります。

連携の強化では、これまで実施してまいりました**S U W A**ブランド創造事業を継承します**モノづくり集積地S U W A**の**ヒトづくりプロジェクト**として、岡谷市が代表市となり、信州大学、公立諏訪東京理科大学、N P O諏訪圏ものづくり推進機構のほか、他市町村との連携により小型ロケット製作を通じた技術力の向上と提案型技術者の育成、また、新たに若者を対象としたキャリア育成プログラムの開発など、ものづくり技術の高度化などに向けた支援を行うとともに、ものづくり人材の育成に取り組んでまいります。

また、中小企業が集積する6都市で構成します**中小企業都市連絡協議会**において、共通する課題の解決に向けた情報交換を行うほか、5月には本市において**第12回中小企業都市サミット**を開催し、国に対して、中小企業を取り巻く課題の解決に向けた支援などについて提言を行ってまいります。

商業・サービス業の振興といたしましては、「岡谷市商業活性化計画」に基づく諸施策を積極的に展開し、商業の将来像として掲げる「人が集い、暮らしに彩りと潤いがあふれ、『楽しい』があるまち」の実現をめざしてまいります。

商業環境の立地競争力の強化を図るため、新規出店の際の改修や、既存店舗の改修に要する費用などを助成する**商業等振興補助金**の拡充、さらに、市制度資金のうち**商店近代化資金**の貸付利率を引き下げるとともに保証料の全額を補助するほか、市内商業会が行う**街路灯のL E D化**に対して、必要な経費を助成することにより、まちなかのにぎわいの創出を図り、回遊性のある商業地の形成をめざしてまいります。

また、岡谷商工会議所が主体となって導入します、岡谷版電子マネー**オカヤペイ**につきましては、岡谷商工会議所との連携を深めながら、行政ポイントの付与、消費者への利用促進など、積極的に支援を行ってまいります。

このほか、インスタグラムを活用して市内商業会等のイベントや各店舗の魅力情報のほか、空き店舗情報などを積極的に発信し、市内店舗等の知名度向上と空き店舗の活用促進に努めてまいります。

農業の振興といたしましては、市内農業者が大都市圏で開催されるマルシェ等に出展する際の経費を助成する**農産物販路拡大支援事業**を新たに実施し、農業経営の安定と販路拡大を支援してまいります。

また、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農初期段階の青年就農者に対して、経営の安定化を支援する**農業次世代人材投資事業**を実施するほか、**サポートファーム事業**により、担い手の育成、地産地消の推進、遊休農地の解消に取り組んでまいります。

森林の整備といたしましては、**森林経営管理事業**として、地域林政アドバイザーを中心に、長野県や諏訪6市町村で組織する森林経営管理制度推進協議会を新たに設置し、共同事業を実施するなど、森林の適切な経営管理を推進してまいります。

また、**松くい虫の防除対策**につきましては、引き続き、松林の監視体制を強化するとともに、薬剤購入に要する経費を助成するなど、関係機関と連携しながら、被害の拡大防止に取り組んでまいります。

このほか、**川岸地区山林火災復旧事業**につきましては、事業の円滑な推進を図るため、地元復旧協議会が実施する造林事業などに対して、支援を継続してまいります。

農林業の基盤整備といたしましては、林道横河山線に架かります**観音橋の架け替え工事**、林道常現寺線の**舗装工事**のほか、**五兵衛汐へのゲート設置工事**を進めてまいります。

地域資源の活用では、**ブランドの振興**といたしまして、岡谷ブランドの発信拠点であります岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）を核として、積極的な施策の展開を図り、本市の知名度向上と岡谷ブランドの確立を推進してまいります。

また、活動2年目となります**地域おこし協力隊**による地域活動を全面的に支援するなど、諸施策の展開により、養蚕から生糸、そしてシルク製品までのすべ

てを岡谷市内で生産・製造する、オール岡谷産のシルク製品の確立をめざしてまいります。

さらに、岡谷蚕糸博物館のミュージアムショップに**キャッシュレス環境を整備**し、来館者の利便性向上と施設の満足度の向上に努めてまいります。

信州シルクロード連携事業では、信州シルクロード連携協議会参画団体との協働により、首都圏などでのPRを引き続き行うほか、関東経済産業局が実施いたします、**絹のみち広域連携プロジェクト**との連携などにより、観光資源としてのシルク文化を広く発信してまいります。

観光の振興といたしましては、昨年第50回の大きな節目を迎えました、本市を代表する市民祭**岡谷太鼓まつり**では、より積極的なPRに努め、観光誘客の拡大を図るほか、郷土芸能の発展・継承と後継者育成に取り組んでまいります。

また、春は横河川の桜、鶴峯公園のつつじ、夏は小坂公園のあじさい、秋は出早公園のもみじなど、自然環境に恵まれた、四季折々の観光資源を活かし、多くの方に足を運んでいただけるよう取り組んでまいります。

働く環境の充実では、人材確保が困難な状況が続く中、市内企業の採用活動を支援するため、新たに、**採用活動応援補助事業**として、市内企業が民間求人サイトを活用する際に必要となる経費を助成し、新規学卒者や、一度就職した後3年程度で離職して再度就職活動を行う第二新卒者の市内企業への就職を後押ししてまいります。

また、インターンシップによる職業体験や県外大学等へ進学した学生の市内企業への就職を促進するため、市内企業見学会、年末企業研究会等への参加ツアーを開催し、学生の就職活動から内定までを段階的にサポートする**若年人材確保事業**に取り組んでまいります。

さらに、**若者未来の就職応援事業**として、中高生に向けた進路講演会などのキャリア教育を実施することにより、地元企業の魅力を伝え、職業観の形成と地元企業への就職を促進してまいります。

このほか、**障がい者等雇用促進事業**につきましては、インターンシップ促進補助金の上限を拡大し、障がい者の職業体験・就労体験の機会の充実と、雇用のさらなる促進を図ってまいります。

女性雇用促進就業環境整備支援事業につきましては、女性専用の更衣室や休憩室、トイレの整備など、女性が働きやすい環境整備に取り組む市内中小企業を支援することで、女性の雇用促進と定着率の向上を図ってまいります。

移住・定住の促進では、交流・関係人口の創出・拡大に向けた取組として、若年層の利用者が多いInstagramを活用したInstagramフォトコンテスト事業を実施するほか、市内の観光スポットなどをめぐるサイクリングイベントやゴルフ体験など、本市の観光資源と人的資源を生かしたおかやスポーツツーリズム事業を新たに実施し、岡谷市の知名度向上と交流人口の拡大を図ってまいります。

また、おかやの魅力体験事業として、移住相談者を対象とする市内宿泊施設での短期の宿泊費用などに対する助成を拡充するほか、市内での最長2か月間の生活体験に必要な経費に対する助成制度を創設し、本市の暮らしやすさを実感していただくことで、定期的に岡谷市を訪れ、地域や地域住民と多様なつながりを持つ関係人口の創出に注力してまいります。

さらに、若者おかや暮らし応援事業として、近隣の大学等へ通う学生並びに29歳以下の勤労者が市内の民間賃貸住宅に居住する場合、その家賃に対する助成を行うほか、市営住宅への学生居住事業として、堂前、加茂A、加茂Bの市営住宅の空き部屋を、公立諏訪東京理科大学の学生の住まいとして提供することで、市営住宅の空き部屋の有効活用とコミュニティの活性化を図るとともに、若者の移住・定住を促進してまいります。

このほか、若者の移住・定住の促進と併せて、人手不足の解消を図るため、就業・創業移住支援事業として、国、県と連携して、県外から市内へ移住し、起業もしくは一定の要件を満たす中小企業等へ就業した方に、移住等に要する経費として最大100万円を助成してまいります。

続きまして、基本目標『安全・安心で、自然環境と共生するまち』について説明申し上げます。

安全対策の推進では、**危機・防災・減災対策の推進と消防力の強化**といたしまして、消防団装備の充実と地域防災力の強化を図るため、消防団に配備しております消防団車両を計画的に更新してまいります。令和2年度につきましては、第4分団にポンプ車、第11分団に災害対応型多機能消防車両を配備し、将来発生が予想されております大規模地震や自然災害への備えと地域の安全・安心を確保してまいります。

また、計画的に進めております**ため池整備事業**として、市営岡谷球場北側にあります西林ため池の廃止工事を行うほか、長野県により「防災重点ため池」に指定されます6箇所のため池の地質調査及び耐震診断を実施し、地震に対する安全性の確保と機能の保全を図ってまいります。

生活安全対策の推進といたしましては、新たに、**高齢者安全運転健康診断事業**として、岡谷自動車学校と連携する中で、高齢ドライバーの運転技術のチェックを行うことにより、自身の運転技術を客観的に判断し、安全運転に対する意識の向上と高齢ドライバーによる交通事故の防止を図ってまいります。

また、各区等が行います**蛍光灯型防犯灯のLED化**に対して助成を行うほか、市が管理しますすべての**道路照明灯のLED化**を実施し、夜間における安全・安心を確保するとともに、環境負荷や維持管理経費の軽減などを進めてまいります。

環境保全の推進では、「第4次岡谷市環境基本計画」に望ましい環境像として掲げる「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」の実現をめざすとともに、健全で恵み豊かな環境を将来世代へ引き継ぐため、各種施策を展開してまいります。

自然環境の保全といたしましては、**地球温暖化防止啓発事業**として、セミナーの開催のほか、緑のカーテンコンテストなどを行い、二酸化炭素排出量の削減、再生可能エネルギーの利用促進を図ってまいります。

また、**諏訪湖ヒシ除去体験事業**として、引き続き、諏訪湖漁業協同組合などと連携し、ヒシの除去作業に取り組むほか、環境教育の一環として小学生を対象と

したヒシ除去体験を行うことで、諏訪湖浄化の推進と諏訪湖のイメージアップを図ってまいります。

生活環境対策の推進といたしましては、**硬質プラスチック試験回収実施事業**により、硬質プラスチックのリサイクルの検証に取り組むほか、草や剪定枝等については、引き続き持込場所を設置し、チップ化による資源化などを行い廃棄物の減量を進めてまいります。

また、**ごみと資源物 探検隊ツアー事業**として、諏訪湖周クリーンセンター、樋沢一般廃棄物最終処分場などにおけるごみの処理工程の見学を通じて、ごみ減量や3Rの推進などに対する市民の意識啓発を図ってまいります。

居住環境の充実では、**空き家対策事業**として、空き家の除却費用に対する補助、空き家バンク制度の活用促進など、「岡谷市空家等対策計画」に基づく事業展開により、空き家の利活用及び適正管理を推進するほか、**ブロック塀等除却事業**として、通学路などの道路に面したブロック塀の撤去に対する助成を継続することで、住環境の向上による安全・安心の確保と景観の保全につなげてまいります。

また、**老朽団地住替事業**として、廃止の方針としている老朽化が著しい市営住宅の入居者に対し、移転費用を補償するとともに、移転後の家賃については従前の家賃に据え置くことで住み替えを促進し、入居者の安全確保と住環境の向上を図ってまいります。

さらに、**加茂A市営住宅の外壁・屋上防水改修**を行い、市営住宅の維持保全と長寿命化を図ってまいります。

このほか、**住宅防災・減災事業**として、耐震診断及び耐震改修に要する経費を補助することで、住宅の耐震化を促進してまいります。

併せて、「改訂版岡谷市防災ガイド」を活用した説明会を各区等において開催し、自分の住む地域の特性を学び、日頃の備えや安全な避難方法を話し合うなど、市民の防災・減災に関する知識の習得と意識の醸成を図り、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

続きまして、基本目標『快適な生活を支え、住み続けたいまち』について説明申し上げます。

計画的土地利用の推進では、長野県及び諏訪湖周3市町の連携による**諏訪湖周サイクリングロード整備事業**として、岡谷市管理区間のうち、下諏訪町境から諏訪湖ハイツ前までの整備工事及び市民総合体育館南側区間の測量・設計業務に取り組み、諏訪湖の景観を活かしつつ、観光や健康づくりなど、多様な目的を持ち集うすべての人が、安全で快適に自転車を利用できる環境づくりを進めてまいります。

また、都市公園の計画的な整備を行うための**公園施設長寿命化計画**を策定し、子どもから高齢者まで、誰もが安全で安心して利用できる公園整備を進めてまいります。

都市基盤の整備では、**幹線道路と交通網の整備**といたしまして、県事業であります**地域幹線道路整備事業**により、岡谷駅前主要地方道岡谷停車場線の電線地中化事業に引き続き取り組むほか、主要地方道下諏訪辰野線（岡谷川岸線）の川岸小学校前から観蜚橋までの間の事業化に向け、地元住民の皆様との調整などを進めてまいります。

また、諏訪湖サービスエリアへの**仮称・諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業**として、地域産業の活性化、市民生活の利便性の向上等を図るため、地元対策委員会と協議を行いながら、国、長野県、諏訪市、NEXCO中日本等との連携により、令和5年度末の供用開始をめざし事業を推進してまいります。

生活道路の整備といたしましては、交通量の多い主要幹線道路や身近な生活道路を中心に、計23箇所、総延長約5kmにおよぶ舗装の維持補修を行うとともに、劣化が軽微な段階で修繕などを講じる予防保全型の維持補修に努めてまいります。

また、**生活道路交通安全対策事業**として、ゾーン30の指定をしております銀座地区内の103号線（西堀通り線）におきまして、ビッグデータを活用して、令和元年度の整備箇所の効果検証、解析などを行い、エリア内全体の施工計画及び詳細設計を行うほか、走行速度を抑制するための対策工事を実施することで、交通事故の発生抑制と地域の安全確保につなげてまいります。

こうした市民の皆様のお身近な生活道路の整備につきましては、令和元年度に

引き続き、財源を重点配分し取り組んでまいります。

橋梁維持補修事業として、これまでに実施してまいりました道路法に基づく定期点検の結果を踏まえ、3号線（鳴沢通り線）に架かります、滝ノ沢第三橋のほか3箇所（箇所）の橋梁の維持補修を実施してまいります。

上下水道の維持・整備といたしまして、**水道事業**では、将来の水需要の動向や施設の老朽化に注視するとともに、「岡谷市水道事業経営戦略」及び「岡谷市水道事業基本計画」に基づき、将来を見据えた経営基盤の強化を図りつつ、今井上向配水池の整備をはじめとする**水道施設の再構築事業**に取り組むほか、**水道施設の更新・耐震化**を計画的に進め、安全で安心なおいしい水を、将来にわたり安定的に供給してまいります。

また、水道料金につきましては、人口減少などによる給水量の減少により収益が年々減少する厳しい経営状況ではありますが、岡谷市水道事業経営戦略等に基づき見直し検討を行った結果、収支バランスが維持できる見通しであることから、令和2年度から令和4年度までの3年間は、突発的な事象等が発生しない限り据え置きとし、引き続き、安全で良質な水道水を将来にわたって安定して供給できるよう努めてまいります。

下水道事業では、「岡谷市下水道事業経営戦略」をはじめとする各種計画を基本として、予防的修繕を行う**下水道ストックマネジメント（長寿命化）事業**のほか、**下水道総合地震対策事業**により、災害に強い施設整備を推進してまいります。

また、**下水道雨水渠整備事業**として、諏訪信用金庫本店から県道檜川岡谷線までの間の山下幹線及び32号線（湖岸通り線）の小井川幹線における整備を進め、浸水被害の軽減を図り、市民の安全な暮らしの確保に努めてまいります。

続きまして、基本目標『みんなでつくる、確かな未来を拓くまち』について説明申し上げます。

地域コミュニティの振興では、**市民総参加の推進**といたしまして、**高校生まちづくり推進事業**に取り組んでまいります。近い将来、岡谷市を担う高校生が、岡谷市の今を知るとともに、岡谷市の将来を考え、自ら行動する機会を創出するほか、地域の方々と係わりながらまちづくりに携わることで、岡谷市への愛着を育み、Uターンの足がかりとしてまいります。

市政運営の推進では、市税などの歳入確保、限られた財源の選択と集中による重点配分や歳出削減のほか、組織及び定員の適正化などに努め、**持続可能な行政運営**を推進してまいります。

また、**公有財産の適量・適正化**といたしましては、**公共施設等総合管理計画推進事業**として、施設の計画的な維持管理、修繕、更新等に向けた個別施設計画の策定を進め、少子高齢化、人口減少時代に見合った公共施設の最適化と長寿命化を推進してまいります。

このほか、**ふるさと寄附金 寄附促進事業**では、市内事業所等の協力により、返礼品のさらなる充実と積極的なPRを進め、財源の確保と併せて、本市の魅力発信と知名度向上に努めてまいります。

I C T（情報通信技術）利活用の推進といたしましては、A I 音声認識技術を活用した**会議録等作成支援システム**を新たに導入し、業務の効率化と働き方改革を推進してまいります。

このほか、公共施設におけるサービス向上及び外国人観光客を含めた来訪者の利便性向上を図るため、公共施設へ**公衆無線LAN環境を整備**してまいります。令和2年度につきましては、イルフプラザの3階及び4階へ整備することとし、併せて効果検証を行いながら、他施設への計画的な整備を進めてまいります。

以上、令和２年度予算編成の概要を説明申し上げます。

現在、岡谷市は全国の地方都市と同様に、人口減少・少子高齢化という大きな課題に直面しています。

しかしながら、こうした時だからこそ、市民と行政が手を携え、地域が一体となって課題に立ち向かい、岡谷市の未来を展望しながら、議員の皆様にも検討を深めていただき、市民の皆様とともに心を込めて策定した「第５次岡谷市総合計画」に掲げた基本目標の達成に向けて、一步一步着実に歩みを進めることが、将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現と、市民誰もが安全で安心して、健康で生きがいを持って暮らすことができ、このまちに住み、働くことに誇りと自信、そして、愛着を持てるまちの実現につながるものと考えております。

引き続き、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、岡谷のまちに対する、深く、熱い想いを持ち、時代の流れとそれに伴う課題に適切かつ柔軟に対応しながら、将来にわたって持続可能で、将来のまちに多くの夢と希望を描くことができる、確かなまちづくりを力強く進め、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人に活躍の場や生きがいがあり、また、生活に彩りと潤い、楽しみがあって、幸せを実感でき、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える満足度の高い岡谷市を、市民の皆様とともに創り上げるため、説明してまいりました各種施策・事業について全力を傾注して積極果敢に取り組み、令和の新しい時代にふさわしい市政運営を力強く推進していく決意であります。

議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、私の所信の一端といたします。